

# YMCA 大阪青年

## 12

2022年12月1日発行  
1916年6月1日創刊  
発行 / 小川 健一郎  
編集 / 大阪 YMCA 広報室  
〒550-0001  
大阪市西区土佐堀 1-5-6  
Tel 06-6441-0894  
Fax 06-6445-0297  
URL: <http://www.osakaymca.or.jp>

2022年に大阪YMCAは創立140周年を迎えました

## みんなを救うために

「キリスト・イエスは、罪人を救うために世に来られた」

という言葉は真実であり、

そのまま受け入れるに値します。

(テモテへの手紙 | 1章15節)



クリスマスという日は、すっかり日本でも知られるようになりました。けれども、クリスマスとはどういう日であるのかを知らない人もたくさんおられます。クリスマスというのは、イエス・キリストがこの地上にお生まれになった日のことです。そのイエスのお生まれになった日をキリスト教ではお祝いする日がクリスマスなのですが、単に「イエスさま、お誕生日おめでとうございます！」というだけではありません。ではクリスマスにはどういう意味があるのか、なぜイエスがこの地上にお生まれになったのか、ここに書かせていただこうと思います。

神様はこの地上に生きるすべての人を、地上での命が終わったのちに天国へと導きたいと思っておられます。ところが、地上での心のままで天国に導いたら、天国においても地上と同じような問題が起こってしまうでしょう。それは、すべての人が何かしらの悪いこと

を抱えているからなのです。実際に悪いことをしていないとしても、心の中で何か悪いことをしてしまうということは誰にでもあることです。それを、キリスト教では「罪」と言います。その罪を抱えたまま、一人ひとりが天国へと入って行くことはできないのです。だからと言って、人が自分の知恵や力で罪を全く犯さないで生きようにはなれませんし、その罪をきれいに清めるということもできません。そこで神様は、ご自分が人の姿となってこの地上に行き、何も罪を犯さないで歩み、最後にはすべての人の罪を負って十字架にかけられて殺されるという計画を立ててくださったのです。その計画によって、神様でありながら人の姿でこの地上に来てくださったのが、イエス・キリストです。そして計画通り、すべての人の罪の犠牲となって、十字架にかかってくさいました。そのイエスの死によって、すべての人の罪が赦され、清められ、天国へと行くこと

ができるようになったのです。

私たちもこの地上でたくさん罪を犯しながら生きています。それでも、地上での命が終わったら神様のご計画によって、皆天国へと招き入れられます。私たち人間にはできない救いの御業が神様によって行われたのです。イエスがこの地上に来てくださったクリスマスには、そのような神様の愛が込められています。そのことを心に留めつつ、感謝をもってクリスマスをお祝いしたいと思います。



日本基督教団  
河内長野みぎわ教会  
牧師  
南YMCAキリスト教委員会  
委員長

ふくしま よしや  
**福島 義也**

### ■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人のびとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み、平和で公正な世界をめざします。

# 大阪YMCAクリスマス献金 ご協力をお願い

大阪YMCAでは、クリスマスを迎えるこの時期に毎年クリスマス献金活動をおこなっています。皆様からお寄せいただいたクリスマス献金は、大阪YMCAの各事業所をはじめ日本YMCA同盟や世界中の関係YMCAと協力し、ボランティアと共に主体的に企画・実施・支援するボランティア活動やプログラムのために大切に用いさせていただきます。

## 皆さまからのクリスマス献金

地域課題解決プログラム支援金  
国際奨学支援金  
青少年育成活動支援金

国際協力募金  
国際協力活動支援金  
日本YMCA同盟

個別支援金支援プロジェクト

アジア・太平洋YMCA同盟  
世界YMCA同盟

(毎年度審査により実施)

～以下に支援金を用いて実施しているプログラムの一部をご紹介します。～

## 個別支援金支援プロジェクト紹介

### 「ハレの日※弁当」でコロナフレイルを予防

新型コロナウイルス感染症拡大により、一人暮らしや身体が不自由な高齢者は、それまで以上に家に閉じこもることが多くなり、心身の衰えであるフレイルの進行が懸念されています。

YMCAサンホームでは、フレイル予防の一環として、人とのつながりを絶やさず、食事の時間を楽しみに感じていただけるように、月に1度、地域のボランティア(サンホーム支えあおう会)とともにちらし寿司の宅配を行っています。

活動を始めて2年目となり、約250食の提供を行いました。今では、宅配を通じて知り合った地域の高齢者とボランティアが、お互いに顔を見て話せる時間を非常に楽しみにされ、交流のひとつとなっています。

一人でも多くの高齢者が、社会とのつながりを持ち、心がハレる活動を、これからも地域の方やボランティアの方々の声を聴きながら続けていきます。

※ハレの日とは、年中行事やお祭りなどの特別な日のことをいい、非日常という意味があります。



季節を感じられる旬の食材をつけています。配達時は支援金で購入させていただいた自転車や保冷バックが活躍しています。



(左) 利用者の南口さん「毎月のお弁当と、小吹さんとお話をするのが楽しみです。」  
(右) 宅配ボランティアの小吹さん「待っていてくださる方に届けることが自分の楽しみになっています。」

### ISSUE「社会課題に対するユース世代のプレゼンテーション大会 ～STAGE17～」



「STAGE17」はユース世代(高校生年代から35歳)が課題と考える「自分事」の社会課題を多くの人に知ってもらう機会として、大阪YMCAが企画したプレゼンテーション大会です。

昨年度、2022年1月22日(土)に第1回目を開催しました。プレゼンターには、高校生や大学生、社会人などのユース世代10グループが集まりました。「若者の自殺率と夢の関係性」「子どもの第3の居場所づくり」「CO:SIGN いろんな:サイン」「パーク建設を通じたスケートボード普及」など、それぞれに感じる社会課題への想い、そして、その課題をより良くしていくための提案が発表されました。会をきっかけに共通の社会課題に目を向けた人との意見交換や、新たな出会いなど、多くの繋がりが生まれる場となりました。



### ●国際協力募金

日本YMCA同盟を通して、世界各地のYMCAが取り組んでいる自然災害や紛争、貧困課題の解決に用います。

### ●国際協力活動支援金

大阪YMCAと海外YMCAとの国際交流を通して、青少年のグローバルなつながりを育むための活動に用います。

### ●地域課題解決プログラム支援金

大阪YMCAの各事業所が、それぞれの地域課題解決のためにボランティアとともに企画、実施するプログラムへの支援金として用います。

(主に子ども、子育て、高齢者のための地域プログラムの支援に充てられます。)

### ●国際奨学支援金

大阪YMCAの学校に在籍している留学生をはじめとする外国人学生の学業達成のための奨学金として用います。

### ●青少年育成活動支援金

YMCAのプログラムに参加する青少年への支援、ユースボランティアリーダーが社会課題に対応する力を育むための活動に用います。

# マンダレーYMCAからのメッセージ A Message from Mandalay YMCA

パートナーYMCAであるミャンマーのマンダレーYMCAからメッセージをいただきました。

ネイ・ウィンマンダレーYMCA総主事  
General Secretary Nay Win



マンダレーYMCAは、青少年と子どもたちの成長と幸福を育むことを主眼とした組織です。マンダレーYMCAのビジョンは、差別のない地域社会の総合的な発展のために十分な能力を持ち、立ち上がる組織になることです。マンダレーYMCAは通常、若者や子どもたちのために、プレスクールプログラム、パソコン教室、外国語コース、音楽教室、スポーツ教室などの様々なプログラムを行っています。さらに、人道的プログラム、環境活動、宗教間プログラム、多くの社会活動にも取り組んでいます。マンダレーYMCAは、地域社会の中で複数の宗教と共存するために、多様性と平和を推進しています。

2020年以降、マンダレーYMCAは新型コロナウイルスの感染拡大により、苦境に立たされています。多くの困難に遭遇しましたが、中でも収入に大きく影響したため、職員の給与を大幅に削減し、事務所を閉鎖せざるを得ませんでした。さらに、2021年の初めにも恐ろしい事態に見舞われました。これは、YMCAにおける一部の活動を再開している最中に起こった軍事クーデターです。安全上の懸念から、現在に至るまで活動を適切に運営することができませんでした。このような困難にもかかわらず、マンダレーYMCAは、新型コロナウイルス対応プログラム、オンライントレーニングコース、宗教間青年プログラム、そしてワイズメンズクラブと協力した人道的活動などを成功させることができました。

最近では、マンダレーYMCAはプレスクールのプログラムを通常通り再開し、その他の活動や人道的支援も継続しようとしています。また、現在の国の状況により、若者が教育を受けることが困難な状況にあります。そこで、プリティッシュ・カウンスル・ヤンゴン、アメリカン・センター・ヤンゴン、ヒトセンター・マンダレー、日本の大阪YMCAなど様々な団体と協力し、若者の機会や進路を改善するために活動していく予定です。

マンダレーYMCAの総主事として、私は、YMCAは人類をより良くするためにできたと考えています。しかし、世界には多くのYMCAがあり、その存続の仕方も様々です。政治的、民族的に不安定なミャンマーで少数派のキリスト教団体として立ち、多くの困難や課題を抱えています。しかし、マンダレーYMCAは、そのような困難や課題を乗り越え、独自の活動を実践しています。私たちは、国際社会の一員としてマンダレーYMCAが、多くの困難を乗り越えて活動し、また多くの支援を提供したいと考えています。



## ユースの声 vol.6 ～ポーランドでの難民支援～

大阪YMCA国際専門学校 国際高等課程国際学科3年生  
右近 彩葉

私は2022年5月6日から6月20日まで、ポーランドにボランティア留学に行きました。私が活動したヴロツワフ市にあるシェルターには、ウクライナからの難民が毎日1000人以上も訪れます。難民の多くは女性や子どもで、戦場で戦っている彼らの父、夫、息子の安全を毎日祈っている人たちがいたり、両親と離れて妹と2人で避難してきた15歳の青年もいました。その青年は自身も難民で辛い状況にあるにもかかわらず、ボランティアとして難民を支えていました。

私の主な活動は、シェルターの一角にあるプレイグラウンドで、子どもたちと一緒に遊んだり、日本語を教える習字をしたりすることです。子どもたちはとても元気で、すぐに私を受け入れてくれて、毎日ハグをしてくれる子どももいました。ボランティア仲間もとても優しく、ポー

Mandalay YMCA is an organization whose main focus is to nurture the development and wellbeing of youth and children. The vision of Mandalay YMCA is to be an organization with sufficient capacities and stands for the all-round development of the community without discrimination. Mandalay YMCA normally has preschool programs, various training such as computer courses, language courses, music and sports classes for young people and children. Moreover, we also work for humanitarian programs, environmental activities, interfaith programs and many social activities. Mandalay YMCA promotes diversity and peace to live together with multiple faiths in the community.

Since 2020, Mandalay YMCA has been struggling due to the Covid-19 situation. We have encountered many difficulties, among which our income was greatly affected, so we were forced to drastically cut staff salaries and the offices had to shut down. In addition, we had another terrible situation at the beginning of 2021, which is a Military Coup while we are restarting some of the activities. Due to security concerns, we could not run the works properly till now. Despite the difficulties, Mandalay YMCA was able to successfully carry out the following activities, such as our Covid-19 response program, online training courses, interfaith youth program and humanitarian activity in collaboration with the Y's Men's Club.

Recently, Mandalay YMCA has been trying to restart the preschool programs regularly and also to continue other activities and humanitarian support. In addition, due to the current situation in the country, it is difficult for young people to access education. So, we are going to work with various organizations such as the British Council Yangon, American Center Yangon, Hito Center Mandalay and Osaka YMCA Japan in order to improve opportunities and pathways for young people.

As a general secretary of Mandalay, I believe YMCA became for the betterment of humanity. However, there are many YMCAs in the world and the way they survive are different. Standing as a minority Christian organization in Myanmar that is politically and ethnically unstable, we have many difficulties and challenges. Despite these difficulties and challenges, Mandalay YMCA is doing its own activities progressively in practice. As a global community, we hope to understand that Mandalay YMCA is working beyond many difficulties and also to provide a lot of help.

ランド語やウクライナ語が全く話せない私を仲間として受け入れてくれました。ウクライナの人々を助けたい、笑顔にしたいという思いでボランティアに行きましたが、いつの間にか私の方が支えられていました。

この活動中に、私は日本の友人とウクライナの子どもたちがオンラインでつながる場をつくりました。若い世代に、世界の現状や日本とは違う価値観を発信することは、彼らの考え方のベースをつくり、自分事として行動を起こすきっかけになると思います。



# YMCAストーリー vol.5

大阪YMCA早天祈祷会 世話人代表 まさぐちのぞむ 牧口 望

人間にとって、「なくてはならないもの」は何なんだろう。本当に、それなしに生きられないものは、生命に決まっていると言うかもしれない。たしかにそうだ。しかし、生きられないからこそ、生命を捨てる人があるとすれば、その「人を生かすもの」とは、いったい何なのだろう。それは、「自分が生きていていいのだ」という確信、生の肯定ではないだろうか。それなしに、いかなる地位も財産も家庭も空しく思え、反対に、それさえあれば、いかに貧しくとも、生活が苦しくとも、一人きりの生活であっても、人間は生きられる。

(渡辺和子著／PHP文庫『心に愛がなければ』より)  
わたなべ かずこ 渡辺 和子さんを迎えた大阪YMCA120周年記念講演会で司会をさせていただきました。講演前の打ち合わせ、渡辺さんを前に背筋が伸びてい

く私、素直に謙虚にされていく私を感じていたのを今でも覚えています。私たちは「あなたは何が出来るのですか」と問われています。それに応えようと「何を、いつまでに、どのくらい」と努力します。そして成果を生み出せば称賛を得ます。まさしく私たちはDoingの世界に生きています。しかし、いずれ何もできなくなり、人のお世話になり、そして死を迎えます。Being—存在の世界に目を向けざるを得なくなります。人は何かができるから価値があるのではなく、存在そのものに価値がある。命は与えられたもの、人は生かされている。YMCAこそ、あらゆる分野で、「神に愛され、赦され、守られ、用いられている」絶対肯定を感じさせる活動を行ってほしい。そう祈っています。



## 私のSDGs vol.5



### 健康に不安を持つ生徒・保護者とともに～すべての人に健康と福祉を～

YMCA学院高等学校には起立性調節障害(OD)や睡眠障害、過敏性腸症候群等、健康面から通学や学校生活に不安を持つ生徒が数多く在籍しています。

2021年度より、関西医科大学、大阪YMCAウエルネス事業部と提携し、そのような生徒が少しずつ健康を取り戻し、学びをあきらめず卒業し未来に希望をもてるよう環境づくりを進めています。具体的には、生徒・保護者の勉強会や交流会、キャンプ、オンラインの運動プログラム等です。1年間の成果として下肢筋力、活動量の増加、何より仲間との出会いが自己肯定感の向上につながっています。

今後は学内のみならず地域にひらかれた活動を展開していきます。



詳細はYMCA学院高等学校のHPをご覧ください。  
<https://www.ymcagakuin.ac.jp/course/ylink.html>

## インフォメーション

### 第344回 早天祈祷会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

日時：2022年12月16日(金) 7:30～8:15

奨励：坂田 浩さん(日本バプテスト連盟 シオンの丘教会牧師)

場所：大阪YMCA会館(土佐堀) 10階チャペル

※朝食会はありません。

※中止の場合は大阪YMCAホームページ「NEWS 新着情報」でお知らせいたします。



大阪YMCA 統括本部 総務  
TEL：06-6441-0894  
E-mail：info@osakaymca.org

### ユースリーダーの日の集い

日時：2022年12月23日(金)

一部 礼拝 18:30～19:00

二部 研修会 19:00～20:30

場所：大阪YMCA会館(土佐堀) 2階ホール

人と人が出会い、繋がりが生まれていきます。その繋がりをより強くしていくためには、思いを交わす中で相手に伝えることはもちろん、相手から言葉や感情などを引き出すことも大切になります。生活様式の変化においても、皆が繋がりを生み、強くしていけるキッカケとなる機会を創っていきます。

## 2022年度年間聖句・年間讃美歌 公募のご案内

大阪YMCAでは、2023年度年間聖句・讃美歌を下記の通り公募いたします。年間聖句・讃美歌は、大阪YMCAにおける会合に提示され、多くの機会に唱えられます。YMCAに集う人々が、親しみを持って口ずさむことのできるものであることを願っています。多くの方々からの応募を心よりお待ちしております。 大阪YMCA ミッション委員会

応募内容 YMCAに集う方々にとって親しみを感じる  
年間聖句・年間讃美歌

応募締切 2023年1月6日(金)

応募方法 下記のQRコードを読み込んで、必要事項を記入の上ご応募ください。大阪YMCAのHPから応募用紙をダウンロードし、メールまたはFAXで応募いただくことも可能です。

【HPアドレス】<http://www.osakaymca.or.jp/>

【応募先】大阪YMCA統括本部(担当：船戸)

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6  
TEL：06-6441-0894 FAX：06-6445-0297  
E-mail：info@osakaymca.org



## 会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2022年10月度報告・敬称略

### 【新規会員】

宮本 純奈

### 【継続会員】

荒賀 めぐみ  
小川 明彦  
阪口 千穂  
阪本 聡子

澤田 綾乃  
武田 龍一  
中川 香博  
新田 展子  
横田 憲子

### 【継続賛助会員】

宗教法人大阪クリスチャンセンター

大阪YMCAのホームページで  
その他の情報をご覧ください  
ます。

